



「文化遺産に泊まろう！」をアピール

魅力と安心を伝えるアイビーの情報発信

倉敷アイビースクエア（以下、アイビー）は、2007年に経済産業省より「近代化産業遺産」に認定され、2017年には文化庁より「日本遺産」構成文化財の一つとして認定されました。これより先1998年に、館内にある工場時代の原綿倉庫（現在の倉紡記念館）および製品倉庫（旧児島虎次郎記念館）が文化庁の登録有形文化財となつていきます。

できることを知らない方もいらっしゃるようです。このたび、アイビーを広くアピールしようと、倉敷繊維加工倉敷工場のフェンスに横断幕を掲出させていただきました。同工場はJRで岡山駅から倉敷に向かう途中、庭瀬駅と中庄駅との間の線路沿い北側にあり、車窓からよく見えます（ほんの短い時間ですが）。

魅力的な観光施設として多くのお客さまに認知され、ご来館いただけるように、アイビーではWEBサイトやSNSアカウントで情報発信を行っております。最新情報と「安心」を伝える2018年にフルリニューアルされた公式WEBサイトは、複合観光施設であるアイビーの魅力を存分にお伝えすべく、各種企画・イベント等、最新の情報を掲載しております。

旧紡績工場跡に建つアイビーの景観は、SNSでも注目されるフォトジェニックな観光スポットです。季節によって色を変える鶯の料理人が振る舞う料理の品々。ご来館されたお客さまの笑顔。アイビーの鮮やかな魅力を余すところなくお届けしています。ぜひチェックしてみてください。（宿泊部 神達 一鳳 記）



▲横断幕でアピール（手前はJRの線路）

アイビーが歴史ある文化施設であることをご存じでも、宿泊も横断幕を掲出しており、グループ会社のフェンスにクラブウゆかりの3施設の広告が並んでいます。大いにクラブウグープのPRになるのではないのでしょうか。皆さんも当地にお越しの際は確認してみてください。

（総務部）
中久保 陵次 記

また、昨年10月には館内の混雑状況を取得・表示するシステムを導入しました。お客さまはいつでも公式WEBサイトから館内施設の混雑状況をご確認いただけます。鮮やかな写真が彩るSNSインスタグラムをはじめとする公式SNSアカウントでは、施設全体のお知らせや美しい写真をお届けしています。



混雑状況が一目でわかる



Follow Me! @krskivysquare

「赤れんが」が博物館で展示される

先月号で既報のとおり、京都府の「舞鶴市立赤れんが博物館」で3月5日から4月24日まで（京都府緊急事態宣言中は休館、解除後6月12日まで延長）開催の企画展「新収蔵品展」に、アイビーのれんがが展示されました。同館は世界でも類のない、れんが専門のミュージアムです。

毎年この時期に、その年新しく収蔵された資料を展示しており、今年は、旧足尾銅山や神戸の旧外国人居留地等7カ所のれんがとともにアイビーのれんが



▲ アイビーのれんが

が紹介されました。れんがはクラブウ発祥の工場で使用されていたものです。約130年前の工場建設にあたり、周防大島のれんが工場に発注し、海路岡山の港まで帆船で運送されたことが記録に残っています。そこからさらに倉敷川の水運を利用して工場建設地まで運ばれたのでしよう。



▲ れんがが採集された壁の写真なども展示された

アイビーはれんがだけでなく瓦、柱、ガラス等工場時代のものが現在も現役で使用されています。

そのようなアイビーの、つまりはクラブウのれんがが、博物館で展示・紹介されるのは大変

舞鶴市立赤れんが博物館

日露戦争前年の1903年に建設された旧日本海軍の魚形水雷庫を改修して1993年に開設された。メソポタミア文明やエジプト文明のれんが、万里の長城、広島原爆ドームのれんが等、古今東西のれんがを収蔵している世界で唯一のれんが専門博物館である。



▲ 赤れんが博物館正面

光栄なことです。

コロナ禍はなかなか収束しませんが、クラブウグループの皆さん、ぜひ「文化遺産」アイビーに泊まりに来てください。万全の態勢でお待ちしております。（総務部 中久保 陵次 記）

赤れんが博物館 学芸員の矢野さんのお話



矢野学芸員

旧倉敷紡績所から倉敷アイビースクエアへの転換は、近代化遺産保存活用の先駆的な取り組みであり、現在にれんが造の紡績工場建築を伝える大変貴重な建造物です。

また、2017年にアイビーで開催された「レンガ再生ワークショップ」は、歴史あるれんがに触れ、思い出をつくる稀有な機会です。れんがを扱う職にある私はとてもうれしく思いました。

